

ディスカバー佐倉

第3回

先崎鷲神社

今回は、初詣を兼ねて、佐倉市指定文化財でもある『先崎(まさき)鷲神社』を参拝しました。この神社は、佐倉こどもかるたにも詠われている通り、古い歴史のある文化財です。御祭神は、天乃日鷲命(あめのひわしのみこと)で、麻植の神様として信仰されている神様です。

開創は937年で、本殿は1844年に建立されました。柱や本殿四面の彫刻は、大江山鬼退治を題材としており圧巻で、先人の偉業を感じます。鳥居は、本殿建立に先立って1673年に建立された石造で、高さ388cm、横幅577cmと、市内の石鳥居としては最大級です。

閑静な森の中にひっそりと佇む景観は、暫しタイムスリップをしたかのような感を催します。



りゅう ちょうこく
龍の彫刻

みごとだね 古い歴史の 鷲神社

(『佐倉こどもかるた(子都手留会 発行)』より引用)

いにしえ

古の旅へ、いざご一緒に!



あうん
入り口で、阿吽の狛犬の出迎えをうけ、境内に入ります。



市内最大級の石鳥居です。



本殿の正面には、双龍の彫刻が施されており、右の登り龍が男龍、左の下り龍が女龍で、天地上下男女一対の理を表しています。本当に圧巻です! 他の三面には、源頼光が四天王を従えての鬼退治がモチーフとなった彫刻が施されています。(またまた感動!)



境内の奥に拝殿があります。賽銭箱はありませんが、小さな受け皿が設置されています。



拝殿の扁額横に鶴と亀の葺細工が飾られています。



左から 鬼退治に出発/苦難の道程/鬼退治を喜ぶ民衆



本殿に参りましょう。まず、その素晴らしい彫刻に目を奪われます。

拝殿正面に、樹齢千余年の榎(けやき)の御神木があります。古くから安産・子育ての木として崇められています。



最後に、会員皆さんの無病息災を祈願して帰路につきました。

先崎鷲神社は筆者の自宅から徒歩15分圏内で、このような素晴らしい建造物があることに改めて感動を覚えました。誰とも接触することなく、木々の息吹を嗅ぎながらの参拝でした。人混みを避けて、静寂を求める方は是非現地でもタイムスリップしてみてください。

取材担当 / 広報副委員長 葛西 正敏

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター



(公社)佐倉市シルバー人材センター ホームページ

理事会は知っているけど、理事活動委員会って何だろう? というのが会員の多くの皆さんの感想ではないでしょうか。

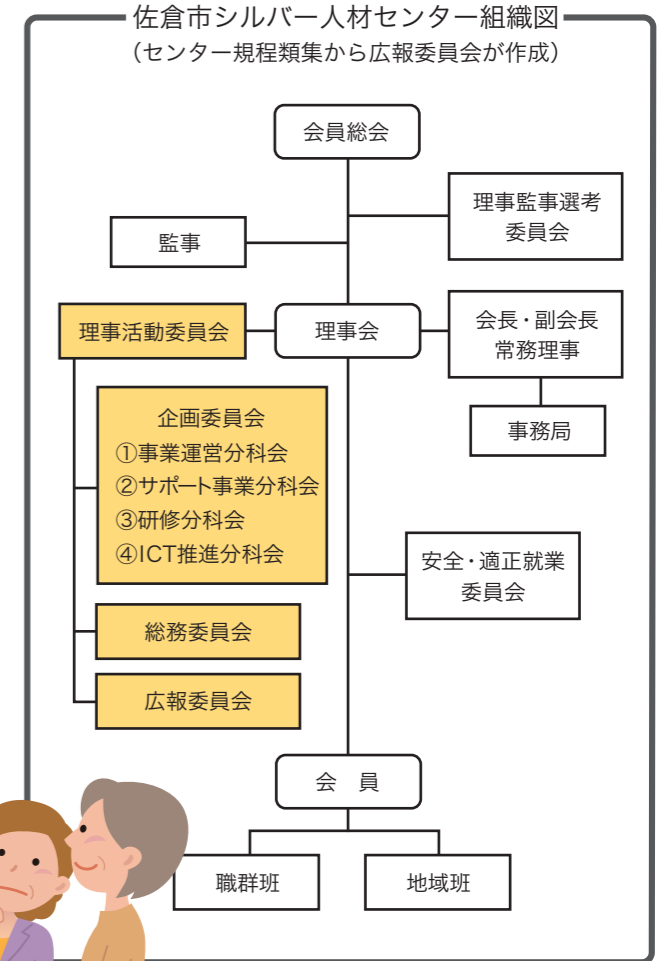
センターの運営組織で皆さんにお馴染みなのは、事務局だと思いますが、その他にもセンターを運営していくために必要な組織があります。理事活動委員会は、そうした組織の一つで、とても重要な役割を果たしていますので、取材することにしました。

組織図で示したとおり、企画委員会、総務委員会、広報委員会の3つがあり、更に企画委員会は、事業運営分科会、サポート事業分科会、研修分科会、ICT推進分科会の4つの分科会で構成されています。

各委員会のメンバーは、理事と公募で選ばれた会員と事務局の3者からなり、5~10名程度となっています。

取材担当 / 広報委員長 長田 成兒

ご存知ですか? 理事活動委員会って、



次回からは、各理事活動委員会それぞれの活動を詳しく紹介してまいります。

事業運営分科会

センターの事業計画を作成します。現在(令和3年1月)、新年度事業計画と新中期計画(3年計画)のとりまとめで大忙し。

サポート事業分科会

会員がいないと、また就業先がないとセンターは成り行きません。会員の拡大と就業開拓を担っています。今年度には、女性の活躍を支援するための女性部会も分科会の中に設置されました。

研修分科会

センターの仕事の質を上げお客様への信頼を高めるため、又就業の機会を増やすため、技能やマナーの講習や研修を実施します。

ICT推進分科会

令和2年10月に新設された組織。近い将来必要になってくる、センターでのICT(情報通信技術)の導入を検討しています。

総務委員会

総会を運営し、フェスタなどのイベントを企画し開催します。

広報委員会

この「ハローシニア佐倉」や「シルバーさくら」を発刊して、センターと会員の相互理解に努めています。

訂正のお願い

誤りがありました。次のとおり訂正をお願いします。

●ハローシニア佐倉

令和3年1月1日発行No.20 4ページ「密蔵院」右側14行目 誤「印旛沼を水源とした」⇒ 正「印旛沼に注ぎ込む」

●シルバーさくら

令和3年1月1日発行第124号 5ページ事務局職員構成 サービス事業提供者 誤「飯島幸子」⇒ 正「飯高幸子」

職群紹介



『放置自転車の監視・移送』と『公民館の窓口業務』 公共の仕事

佐倉市がお客様である『公共の仕事』をする会員は沢山います。『職群班』の名称は付いていませんが、5ヶ所の鉄道駅周辺の放置自転車の監視・移送・保管業務では22名の、6ヶ所ある公民館の窓口業務では24名の会員が仕事をしています。その中から、ユーカリが丘駅周辺を担当するチームと中央公民館を担当するチーム取材しました。

「公共の仕事」の様子はスマホでご覧下さい



動画

朝が早い放置自転車の監視

朝 6時30分から2時間が仕事です。ユーカリが丘駅周辺で佐倉市が自転車等放置禁止区域と指定した範囲を巡回監視します。監視チームは3名編成で、内2名が月曜日から金曜日までの毎朝、『放置自転車監視員』の専用ベストを着けて仕事をします。



『放置自転車監視員』の専用ベストを着けて巡回監視

監視チームの決まり仕事

① 駅の北口側と南口側に分かれて1人で巡回します。一巡するのに約1時間です。②禁止区域に自転車を止める人を見かけると、トラブルにならぬよう丁寧に声を掛けます。が、聞こえぬ振りして立ち去る人もいます。③放置と思しきものには移動を促す白帯を取り付けます。



監視チーム(専用ベスト着用) 左/内貴さん 右/楠田さん 移送チーム 中央左/高橋さん 中央右/石渡さん

移送の通告と移送指示

放 置自転車の移送日の前日と当日の監視チームは毎朝の決まり仕事に加えて、放置自転車に佐倉市の『放置自転車等移送通告書』を取り付けます。

取材した日は移送日で、2名の移送チームはトラックで朝8時に現場に来て監視チームと放置状況を確認したあと、佐倉市の担当者の到着と指示を待ちました。

この日の担当者の指示は、2台の放置自転車を京成志津駅南口自転車保管場所へ移送する内容でした。



白札と通告書(赤札)が付いた自転車



移送指示を受けた放置自転車の積み込み

自転車移送と保管

移 送チームは指定の保管場所へトラックで移送して保管し、車体情報を確認して放置自転車保管台帳に記録すると、この日の業務は終了です。保管場所は寺崎陸橋下自転車保管場所にもあります。保管期間の過ぎた自転車は、市の指示を受けた移送チームにより酒々井のリサイクル文化センターへ移送され、ここでの引渡しを終えると業務は完了です。移送は、駅から保管場所へ月3回、保管場所からリサイクル文化センターへ毎月2回、計画的に行います。



指定された保管場所で自転車の車体情報を確認して、放置自転車保管台帳に記録

窓口業務は閉館まで

中 央公民館の担当は6名で、内2名が組んで午後5時から午後9時の閉館までの窓口業務を行います。土曜日・日曜日は朝8時30分から夕方5時までの終日です。大ホール、会議室等の使用の予約受付、鍵の貸出・収納・保管、施錠などが主な仕事です。公民館はよく利用されていますが、コロナ禍の影響で今は減っています。



『公民館の窓口業務』中央公民館 左/鶴崎さん 右/藤田さん

その他には 千代田・染井野ふれあいセンター、岩名運動公園、上座総合公園、鉄道各駅の通路・駅前、さくら庭園、法務局、白井幼老の館などでも、窓口業務、車両誘導、施錠、あるいは清掃の仕事に就いています。

取材担当/広報委員 徳野 廣一

人と趣味

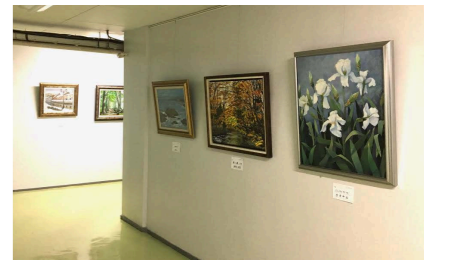
水と光をテーマに風景画を... 小野寺 弘孝 会員 (志津2班) 油絵を趣味とする広報委員の小野寺さんのアトリエ(自宅)を訪ねて、素晴らしい作品を拝見しながらお話を伺いました。



最新作「桜の雪化粧」と小野寺さん



アトリエの名画の数々



市役所の「元気ギャラリー」

高校時代に少し油絵を教わり、いつかは本格的に油絵を始ようと考えていたが、その機会もなく時が過ぎ、漸く3年前に「さくら画の会」という油絵中心のサークルへ入会して本格的に活動を開始。佐倉美術協会や千葉新協会の全国展示会などで新人賞や奨励賞などを受賞して、現在は両協会の会員になっているとのこと。 絵を描く時間帯は決まっていなかったが、ほぼ毎日キャンパスに向かっていたので、今や6畳間のアトリエは大小の作品で埋め尽くされていました。 描く対象は旅先で気に入った風景が多く、絵画スポットを探すことも、旅行の楽しみになっているとのこと。 近所にある何気ない風景にもいい絵 星プロダクション http://honodera919.livedoor.blog/ 取材担当/広報委員 長谷川 幸雄